令和6年度　ユネスコスクールにおける「総合的な探究の時間」の概念図

東京都立山崎高等学校　　令和６年度　ユネスコスクールにおける 「総合的な探究の時間」

東京都立山崎高等学校

立地条件の特色
- 駅から遠く大型団地に囲まれた学校
- 町田市立七国山小学校と町田市立山崎中学校と隣接した学校
- 徒歩圏に保幼小中校そして大学がある学校
- 大型団地には名店街や医療機関等が含まれインフラが揃っているが少子高齢化がすすんだ地域にある学校、緑が多く自然環境に恵まれた学校

生徒に身に付けたい能力等
- 令和４年度学校評価アンケート授業力満足度アンケート　61%→74%
- 18歳成年年齢に相応しい立ち居振舞い(高志・敬愛・協働)、挨拶、身だしなみ、コンプライアンス(法令・校則・ルール・約束)
- 主権者（自主・自立・自律）「権利と義務」、役割を果たす、責任、協働

令和６年度より「Green Day」導入
- 学校が管理する草木の枝の伐採や枯れ葉収集などへの取り組み
- ユネスコ理念である命や自然について考えさせ、環境問題・ごみ問題・資源について、そして、持続可能な社会づくりに向けた実践的な取り組み

ユネスコスクール　→　ユネスコの理念を実現するために平和や国際的な連携を実践する学校（ユネスコスクール同士の海外学校との学校間交流）
（ロシア Volgograd#9校、イギリス ICS London校、韓国 Geochang High School校）
→　ＳＤＧｓ１２番目を起点とした地球的課題の解決のため、地域の大人と協働的に環境問題・ごみ問題・資源への理解と貢献
→　持続可能な開発のための教育（ESD）を全ての教科・科目での実践

各教科・科目での持続可能な開発のための教育(ＥＳＤ)の推進・実践・教科横断型授業

総合的な探究の時間（人間と社会含む）

生徒委員会活動

地域探究：　ESD　×　山崎町・町田

地域探究実施支援員「授業やフィールドワーク業務」
- 町田市文化スポーツ振興部スポーツ振興課
- 町田市議会
- レスタブル
- グランハート
- 町田市青年会議所
- 山崎団地自治会
- 正和幼稚園
- 山崎団地名店街 (同窓会)
- 町田市役所環境資源部 環境政策課・
- ＵＲ都市機構 東日本賃貸住宅本部 多摩・神奈川エリア 再生部
- 玉川大学
- 桜美林大学

東京都都立山崎高等学校　3年間の「総合的な探究の時間」のロードマップ

ユネスコスクール

1年次　グローバルな視点で	2年次　山崎町・町田への視点	3年次　個々の進路実現へ
1学期 4月 5月 6月 7月 8月	1学期 4月 5月 6月 7月 8月	1学期 4月 5月 6月 7月 8月
2学期 9月 10月 11月 12月	2学期 9月 10月 11月 12月	2学期 9月 10月 11月 12月
3学期 1月 2月 3月	3学期 1月 2月 3月	3学期 1月 2月 3月
1学年「総合的な探究の時間」	2学年「総合的な探究の時間」	3学年「総合的な探究の時間」
「Green Day」年間3回実施、定期考査後	「Green Day」年間3回実施、定期考査後	「Green Day」年間2回実施、定期考査後
・山崎団地へのタウンウォーク（体験活動）・バイオエネルギーセンター	探究方法発表会	3年探究まとめ発表会
探究方法発表会	中間発表会	3年パネル発表会
山崎団地へのフィールドワーク（体験活動）	山崎サミット	
中間発表会	3年探究テーマの決定	
1年まとめ発表会	全員オープンキャンパス	
2年探究テーマの決定	山崎団地・山崎町へのフィールドワーク	オープンキャンパス
ユネスコスクール同士の海外学校(ロシア、イギリス、韓国)との学校間交流	生徒全員面接	生徒全員面接
玉川大学による御講演		
玉川大学からのご講評		
生徒全員面接		

タウンウォークと町田バイオエネルギーでの体験活動

グローバルな視点からの環境問題・ごみ問題・資源
①町田市役所からの問いの投げかけ
②「町田市バイオリサイクルセンターへの訪問と中間発表会」
③「仮称：探究方法の見つけ方（大学訪問）」

山崎町でのフィールドワーク

山崎高校生が地域住民と協働しての地域課題解決と地域活性化
① フィールドワーク
② 中間発表会
③ 山崎サミットでの発表と討論会

個々の進路実現へ

それぞれの進路実現に向けた活動
① １・２学年での探究活動を活かした探究テーマの決定
② 国際比較を用いた探究方法
② パネル成果発表会

校外コンソーシアム
- 玉川大学
- 桜美林大学
- 山崎団地自治会
- 同窓会会長 同窓会副会長
- PTA会長
- 町田青年会議所 町田青年会議所OB・OG
- 町田市議会
- グランハート